

ぎのぎ

あなたと議会を結ぶ情報誌

議会だより

令和4年(2022)

発行/9月8日

No.144

令和4年第5回5月臨時会・第6回6月定例会
第7回6月臨時会



道ジュネー復活! エイサー演舞に、ちむどんどん



目次

- 令和4年第6回6月定例会(9人の議員一般質問)..... P2~11
- 令和4年第5回5月臨時会・第6回6月定例会・第7回6月臨時会「議決結果」・決議..... P12~
- 抗議決議等..... P13
- 要請・手交・議員研修..... P14



■発行：宜野座村議会

■編集：議会広報調査特別委員会

〒904-1392 沖縄県宜野座村字宜野座296番地 電話(098)968-8326

我が村政を問う

6月定例会では、9人の議員が 23件の ※一般質問（施政方針に関する質問含む）を行い、活発な議論を展開しました。

質問する議員は、執行当局に事前通告します。本会議場での持ち時間は1人30分以内で、答弁時間は含まない。質問した議員は自ら責任をもって原稿（資料や写真・イラストを含む。）をおこし、それを掲載しています。（1人1ページ）

詳しくは各区公民館、村文化センター図書館に配布される議会会議録又は、村ホームページから、議事録をご覧ください！

※一般質問とは??

村政全般にかかわるさまざまなテーマについて、村の方針や村長の考え、事業の計画や詳細、効果など村民の生活にかかわる多岐にわたった内容を問いただすこと。議員にとって一般質問は、もっとも華やかで意義ある発言の場であり、住民から重大な関心と期待を持たれる **大事な議員活動** です！

平田 嗣義 議員 (P3)

- 一、村内業者育成
- 二、旧漢那国道線
- 三、農業振興地域の除外
- 四、一般廃棄物収集運搬業務委託契約

伊芸 朝健 議員 (P4)

- 一、宜野座村社会福祉協議会の運営と村補助金
- 二、一般廃棄物収集運搬業務

新里 文彦 議員 (P5)

- 一、未来への宜野座村計画
- 二、原名（ハルナー）標識設置

当真 嗣信 議員 (P6)

- 一、道路整備
- 二、透析センターの設置

山内 昌慶 議員 (P7)

- 一、旧防災無線機に関する件
- 二、旧漢那橋の街灯
- 三、今後どのようにリパーク整備事業を進めていくのか
- 四、産業廃棄物処理業者へ城原地域内の宜野座村景観計画区域内行為適合通知書を出した流れ

当真 嗣則 議員 (P8)

- 一、赤土流出防止営農対策
- 二、当真商店から小学校までの道路改良

津嘉山 朝政 議員 (P9)

- 一、農地の転用
- 二、第5次総合計画
- 三、一般廃棄物収集運搬業務

眞栄田 絵麻 議員 (P10)

- 一、沖縄日本復帰50年の節目
- 二、本村において子どもたちの交通安全、防犯対策

小渡 久和 議員 (P11)

- 一、普天間飛行場代替施設
- 二、農業用廃プラ処理

村内業者育成

問 村内業者育成はどのような考えで取り組みをしているのか。

答 當眞村長

村経済の活性化を図るために、公共工事は入札参加資格審査委員会において地元業者の優先発注を念頭において協議がなされ、業務委託、物品購入などについては村内事業者を中心に村出身者が所属する事業所に配慮した審査協議を行っている。

問 土木・建設業以外の業者についても取り決め事項があるのか。(設計・測量・電気保安・し尿処理・物品購入・食品購入)

答 村長

基本的には村内業者の活用という考え方は持っているが、特に



平田 嗣義 議員

取り決めはない。

問 村長は村内業者を優先するということだが、村内業者の皆さんから全て見積りを徴取しているのか。

答 城間総務課長

村内業者から見積りを徴取できない業務もあるので、基本的には地元優先の企業に関して見積等をいただく。

問 村内業者がやっている専門業務については全部対応しているか。

答 村長

村内業者が1者とか、よっては2者とか数が限られている業種があるのも事実で、もちろんそういうところから見積りをいただく。

旧漢那国道線

問 旧漢那国道線漢那福地橋の工事は完了しているのか。

答 村長

村道漢那旧国道線改良事業は、平成31年1月に着工し、令和2年2月完了している。

問 橋についている電気は点灯していないが、これで完了か。

答 島袋建設課長

工事自体は完了となっている。現在点灯していないが、村の方で予算措置をして、来週以降点灯する手配を進めている。

農業振興地域の除外

問 手続きの進捗について、申請者にはどのようにして連絡、連携を取っているのか。

答 浦崎産業振興課長

申請者から問合せがあった時に答える形で対応している。

問 審議会が終了した段階で、申請者に結果だけは早めにできる体制を取っていただきたい。

答 産業振興課長

今後気をつけて、できるだけ進捗を伝えられるよう改善していく。

一般廃棄物収集運搬業務委託契約

問 道交法違反について現在はどういうようになっているのか。

答 村長

これまで村として指導、注意喚起を行ってきたが、以前と比較して改善されているものと認識

している。

問 4月に受託者を呼んで指導したとあったが受託者は何とっているのか。

答 平田村民生活課長

契約どおり、契約の第2条、又、業務仕様書の第9項に書かれているとおり、道路交通法並びに係法令を遵守しながらしつかり業務に当たって欲しいと、会社の代表、関係者を含めて話している状況。

問 道交法と熱中症との関連はあるのか。

答 村長

熱中症対策等万全に取り組んでいたが、健康被害などが生じないよう随時指導していく。

問 一般廃棄物の道交法の熱中症に対しては法的にどうか。

答 ゴミ収集業務で熱中症になった場合、村の責任が全くないかというところではない部分というのはあるだろうと思う。ただ引き続き注意喚起することで、村の責任の部分は回避できるところもあるかというふうには思っている。



伊芸 朝健 議員

宜野座村社会福祉協議会の運営と村補助金

問 補助金交付規定や要綱はあるか。

答 當眞村長
補助金についての規定や要綱はない。補助金要請書を精査し、必要な経費の一部を補助している。

答 城間総務課長
補助金の規定等、要綱等に関しては、社会福祉協議会以外にも補助金を支出している団体等がある。その団体等に関しても、現在担当課で精査し、予算ヒアリングに臨んで査定していく状況。今後

の在り方についても、各市町村の動向も確認しながら、条例等の必要があれば、整備に向けて調整していきたい。

問 村からの補助金3,088万円の内容は。

答 村長

運営に必要な人件費、事業費、事務費となっている。

問 村長は今回の事務局長採用について話を聞いているか。

答 村長

村社協の金武会長からは、前事務局長の定年退職を控えている時期から、後任人事について役場からの職員出向ができないかなど相談を受けている。今回の事務局採用についても一部話を伺っている。

社協の評議員である伊芸議員が出された文書も拝見し、ここ数か月の一連の流れについて担当課より話を伺っている。

伊藝議員

社協の人事問題、補助金の問題等も質問してきたが、社協の現状に疑義と不信は晴れない。私は社協の評議員として、今回の事務局長採用の手順については、不手際があると私は思っている。社協の運営について今後にも注視していく。

一般廃棄物収集運搬業務

問 ごみ収集車の駐車場の令和3年12月議会答弁について、これに間違いはないか。

答 當眞村長

令和3年12月議会に答弁したとおり、現在も駐車場の設置については変更等はないが、保管場所については、環境面、悪臭対策、車両の維持管理上の問題についても適切な場所だと認識している。また、12月議会に北陽生コンクリート株式会社の敷地内と答弁し

たが、正確には隣接する仲程土建株式会社所有地であることを確認した。その答弁については訂正する。

問 ステーション方式のメリット、デメリットは。

答 村長

現在、村では各家庭ごとの戸別収集と複数の家庭ごみを1か所にまとめて収集するステーション方式が併用されている状況。ステーション方式のメリットは、地区内での収集箇所の集約で効率が高い、車両の移動性の向上、比較的広い道路などへの設置による安全運行などが挙げられる。

デメリットとして、高齢者や障がい者の皆さんの排出場所までの移動負担など。環境面では排出マナーの徹底など、苦情なども含めて様々な問題が生じるおそれがある。村としてはデメリットが大きいことから、現時点でステーション方式を積極的に進めるという考え方は持っていない。

未来への 宜野座村計画

問 公共交通等の充実は。(地域コミュニティバス導入)

答 當眞村長

本村では平成29年度、新しい地域公共交通導入調査を行い、村内の交通弱者の移動手段の確保が課題と分かった。令和4年度は公共交通実証運行に向けて、地域公共交通計画素案の作成などを行っていく。

答 城間総務課長

次年度から実証運行が取り組めるように、今後進めたいと考えている。



新里 文彦 議員

問 住民が必要としている地域コミュニティバスは、住民の声を拾うことではないか。

答 総務課長

アンケート調査の中身を再度精査しながら、運行に向けて取り組めたらと考えている。

答 村長

方式についてはデマンドというような予約制にするとか、自宅まで迎えに行くという方式などもあり、まずはそのあたりは宜野座村の規模でそのニーズがどのくらいあるかということなども把握しながら対応していければと思っています。

問 児童福祉、教育総合計画(幼保一貫施設)の在り方は。

答 村長

認定こども園設置に向けて協議を行っている。これまでに担当職員、幼稚園教諭、村立保育所保育士それぞれで認定こども園や子ども・子育て新制度についての勉強会を行っており、子育て世代へのニーズ調査や説明会を実施していく予定。

問 今後どのように幼保一貫教育に持っていくのか。

答 村長

関係者の話を聞いたり、我々行政だけでやっているのではなくて、認可保育園とか、そういう皆さんや、幼稚園の先生方の意見も聞いたり、また保護者の声も聞いて協議して、今後の展開はどうするかということを検討している。

問 基地負担軽減(提供外近隣飛行訓練・騒音)等の問題をどう解決するか。

答 村長

民間地上空の飛行及び低空飛行、夜間飛行が常態化しており、騒音被害等は生活環境への影響が甚大である。村としては、村民の生命・財産と平穏な生活を守る立場から、国や県に米軍への対応を引き続き要請していく。

問 本当に苦しい思いをしている人がいる。本当に嫌な思いをしている人がいる。そこで住民が不満と怒りを持つような地域になっている。

提供している中の「基地の奥に行ってくれと、目の前でやるな、恐怖与えるな、騒音を与えるな」と要請行動ができないか。

答 村長

基地問題については対応に苦慮しているところ。あらゆる場面を通して宜野座村の現状を訴えるようにしており、県の軍転協の中でも発言したり、北部全体の代表という部分も一部あり、様々な政治に携わる皆さんと意見交換する場面も増えている。少しでも負担軽減につながるように、地域の声を伝えていきたいと考えている。ただ、難しい問題であるというのとは間違ったので、諦めることなく、粘り強く行動していければと思っています。

掲載できなかった質問

- ・ 企業誘致、雇用創出在り方
- ・ 農水産業振興
- ・ 赤土流出防止
- ・ 新陸上競技場整備
- ・ 道の駅ぎのぎ周辺整備
- ・ 原名(小字)標識の設置

道路整備について

問 松田保育園前から松田小学校

正門までの道路の、アスファルト陥没や、雨天時の水たまりが見られる。保育園の送迎や小学校の通学路に利用される道路である。

この道路は、馬場の跡で文化財に指定されているので、整備については馬場の跡にふさわしい道路整備ができないか。

答 當真村長

松田小学校正門から村道布石原線につながる道路は区有地となっており、村道・里道には該当しない区分となっている。松田の馬場跡の区域については松田保育園・松田小学校正門につながる

っているため現在は通学路、生活道路と使用されている現状は村としても把握している。今後、松田の馬場跡の位置づけを踏まえ、道路整備を行うかについては、文化財としての性質を考慮しつつ松田区からの要望を踏まえながら判断していく。

問

区有地であるということであるが、区が整備したという記録がない。今アスファルト道路として黒っぽいものを使っているので、文化財ということもあるため、白っぽいアスファルトに変えて事業する。区から土地を提供していただいて、村の方で整備ができないか。

答 村長

土地自体は松田区の土地であるので、行政委員会では非整備してくれというようにならば、それを踏まえて、基本的には生活道として利用されている状況は間違いないので区の中で意見集約していただきたい。



當真 嗣信 議員



危険！松田保育園前の陥没した道路

人工透析の導入について

問 令和元年、令和3年に透析センターの設置について質問したが、その後の進捗状況は。

答 村長

この件については、令和元年6月、令和3年9月定例会において質問を頂き、その後の進捗状況として、村独自の施設誘致、運営を検討するに当たって、令和2年2月と今年5月に伊江村診療所透析センターの視察、聞き取り調査を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実

現に至っていない。透析施設の整備に向けての取り組みとして、必要な根拠法令や整備条件の調査業務をした。

海洋型健康増進施設での整備について、既存の3階部分の未利用部を活用する計画を検討した。しかし透析施設は病院・診療所に当たするため、バリアフリー整備対象施設となる。エレベーターの新設、トイレの改修、間仕切りの撤去等の大規模な改修が必要になることから困難との調査結果となった。今後かなな病院を含めた医療施設関係者と意見交換しながら整備に向けて取り組んでいきたい。

問

医師確保も難しいため、常駐というよりは委託みたいに契約して、各施設を持ち回りで回れるような、そういう先生方との話合いができないか。

答 村長

必ずしも常勤の必要はないだろうという考え方もあるので、議員からもあったように、そういう対応でどの程度、医師の確保の情勢とか、そういうことなども情報を入れながら、今後対応していきたいと思っている。

防災無線機に関して

問 旧防災無線機の回収は村がやるのか。

答 眞村長

役場にて回収し、産業廃棄物業者を通して処分する予定となっている。

問 新防災無線機は、村全体への配布は行き届いているのか。

答 城間総務課長

6月13日現在57%の配布となっている。災害の情報の伝達を徹底するためにも、新防災無線機の配布について広く周知していきたい。

問 4月から回収の話が6月になつているが、まだ回収の話が無く、既に燃えるごみに捨てたという人もおりますが。

答 平田村民生活課長
現状としては、そういった報告は受けていない。

問 旧防災無線機はライトやラジオが付いており、避難用具として大変貴重で、貰いたい人がいる。

答 城間総務課長

貰うということではなく、継続して貸与するという事で考えている。

旧漢那橋の街灯

問 旧漢那橋に街灯が立っていないのはなぜか。

答 村長

街灯設置に係る事業予算の措置は厳しいという判断があり、橋梁部分のみの道路照明設置に至っている。

問 この道路は漢那福地川を今後開発していくために必要な橋と思っているが。

答 村長

地域住民から、是非橋を架けてほしいと強い要望もあったので整備した。

問 夜になると真っ暗で、保安上も含めて心配な点がある。

答

防犯灯の設置については、漢那区と協議していきたい。

リバーパーク整備事業

問 今後どのように、リバーパーク整備事業を進めていくのか。

答 村長

以前に策定した基本構想の見直しを検討している。支援業務を発注後リバーパーク等整備検討委員会の立ち上げを8月中を目途に考えている。その中で今後について具体的に議論を進めていく。

問 平成24年度に策定した計画案のとおり実施していく考えは。

答 村長

計画策定から時間も経っており、時代に合ったものに見直していく。

問 漢那ダム下流には、二カ所の排水処理施設がある。同処理施設から排出される水の基準値検査を厳しく実施したことは。

答 仲間上下水道課長

年に3回から4回、水質検査し、全て基準値内で収まっている。

産業廃棄物業者へ城原地域内の景観計画区域内行為適通知書

問 なぜ城原区に説明しなかったのか。

答 村長

今回の行為は土地の境界確認の為の伐採、土地の一部の切土、盛土による整地となっている。最終的には、ストックヤードとして利用すると伺っている。事前に地域の同意を得た方が良いということと城原区へ誘導した。この計画は民間事業者が行っているもので、事業者から地元城原区へ説明するのが筋だと認識している。

問 業者にはいつ城原区と話をしと言ったのか。

答 比嘉企画課長

事業者から、令和3年5月13日に城原区に向き、前区長に説明し、1回は城原区に説明したと聞いている。

問 この業者は嘘をついている。再度、城原区長と話し合せて許可をしたことについて、正しく申請されているかを是非調べていただきたい。

答 村長

この産業廃棄物の処理施設というものの建設を認めたということではない。



山内 昌慶 議員



眞 嗣 議員

赤土流出防止 営農対策

答

眞 村長

現在、畑の低地側については、幅1・5メートル以上のあぜ設置に対する堆肥補助事業を実施し、赤土流出の緩衝帯となるよう取り組んでいる。あぜの設置だけでは効果が不十分であると感じている。ベチバ、月桃を用いたグリーンベルトの設置は、赤土流出防止効果は高いものと認識しており、設置を促進することができないか検討していきたい。

などを作成し、周知していく。また、緑肥と同様に裸地対策を押しやる梅雨時期に適した収益作物がないかについて、今後調査していく。

答

眞 村長

る。道路の改良が急務と思うが、村長は状況をどう考えているか。

問

3番目。小中学校の児童生徒にベチバの植付け体験をさせ、赤土流出防止に関心を持たせ、予防の重要性を学ばせる機会を作ることとはできないか。

答

眞 村長

小中学生によるベチバの植付け体験については、現在も年に一度、NPO法人おきなわグリーンネットワークから依頼を受けて、村内小学生を対象に赤土講座を行っている。今後は、おきなわグリーンネットワークや農家、教育委員会と連携し、小中学生を対象に、講座後にベチバの植付け体験なども実施できるよう検討していきたい。

問

2番目。宮古島市・伊江村のように梅雨時の赤土流出防止を考慮し、サトウキビの春植えから夏植え主体への転換と、夏植えまでの間に大豆などの植え付けを促進する考えはないか。

答

眞 村長

梅雨時期の赤土流出防止対策のため、現在も赤土等流出防止対策営農推進地域協議会の取組の一環で、裸地対策として1人当たり2,000坪分の緑肥種の配付を行っている。今後も緑肥播種による裸地対策を推進するため、緑肥が土壌や作物に与える効果なども含めた分かりやすいチラシ

問

本村も平成27年から、圃場の低い場所への月桃、ベチバの植付け、マルチング材の支給、緑肥の種子の補助、圃場の心土破砕費の補助等を行ってきた。その結果、以前に比べれば随分赤土流出防止の効果は出てきた。しかし、大雨になればいまだにリーフまで真っ赤になる状態が現状である。

そこで、より効果的な対策を実施するため、下記のことについて村長の考え方を伺う。

まず1番目。サトウキビ、野菜、花卉、ウツチン等の畑の低い場所

眞 商店から小学校 までの道路改良

問

コンビニの開店に伴って交通量が急増し、交通事故が増えてい

御質問の区間については、近年コンビニができたことから、利用度の高さもあり、国道側出入口と併せて区民向けの動線として村道との出入口が設置されている。通学路や保育園の送迎路として利用されている道路となっており、朝夕のピーク時には複雑な道路となっていることは承知している。

特に保育園付近については、以前から通学路安全点検などにおいてスピードの出し過ぎや右折・左折時による危険性の指摘もあったので、路面標示の追加やポストコーンの設置を行うなど、対策をしている。

現在のところ村の道路整備に係る予定には含まれていないが、今後松田区の要望などを確認しながら改良については検討していきたいと考えている。

農地の転用

問 村が使用している粗大ごみ置き場の転用使用許可はいつまでか。期間の延長は可能か。農業委員会はどのように対応しているか。

答 玉代勢農業委員会会長

使用許可はR5年3月31日まで。一時転用の期間は、おおむね3年以内。期間の延長は原則できない。やむを得ない場合、新規の手続きを行い、県知事の許可が必要になる。H26年、H29年、R3年の3回の延長申請では知事の許可を受けない事務処理となっており、現状、違反転用との指摘を受けている。

問 この違反状況を、村はどう考えるか。



津嘉山朝政 議員

答 當真村長

住民の反対で現在地になった経緯がある。当面、違反転用の状態解除のため正式な手続きを取る。今後の場所については金武町や関係機関と協議、相談をしている。

問 違反転用にはいつ気づいたか。

答 石山農業委員会事務局長

5月下旬。県の指導を仰いだ。

問 3回の延期申請を提出しながら、違反に気づかなかったことは落ち度である。ところで、リサイクル法を重荷に感じる村民の声がある。何か良い解決策はないか。

粗大ごみ持ち込みの負担軽減として軽トラックの貸与を行っているが、個人が負担すべき費用を行政が肩代わりすることは厳しい。

答 村長

粗大ごみ持ち込みの負担軽減として軽トラックの貸与を行っているが、個人が負担すべき費用を行政が肩代わりすることは厳しい。

問 住宅地を求める声に、村長の考えは。

答 村長

補助事業を使って整備してきた経緯や、優良農地の確保など考えると難しい。地域で議論していただいで対応していければと思う。

第5次総合計画 後期基本計画

問 計画書の配布の遅れについて説明を。

答 村長

令和4年3月完了。冊子は企画課で保存。一部配布済み。関係機関への配布はこれから。

答 比嘉企画課長

令和4年4月1日の村ホームページ掲載で完了とした。観光振興計画の冊子ができ次第、まとめて各関係機関に配布したい。

問 漢那福地川リバーパーク構想の進捗は。

答 村長

現在、見直し中。整備等検討委員会の立ち上げを、8月中を目途に考えている。

問 宜野座恩納線の構想変更の説明を。

答 企画課長

軍用地の問題があり、構想の実現は難しい。横断道路が変わったのではなく、手法、工法の検討、現実性のあるルートとして県も考えていると理解している。

問 前期計画の「基地の早期返還を目指す」が「整理・縮小、負担軽減に取り組み」にトーンダウンしている。その理由、根拠は何か。

答 村長

「整理・縮小」の中に「返還」を包含している。村民アンケート結果に基づいたもの。

答 企画課長

「返還」を求める声13・4%、「条件付き返還」を求める声は32・6%。前回に比べ減少している。

問 「基本計画」は「国、県、近隣市町村に本村の基本的な考えを主張」「全国に向けて情報発信していく役割も担う」とある。後期計画の文言を全国に発信することになるが。

答 村長

「基本計画」は住民、国民ではなく行政、上部団体とのやり取りで活用されているのが現状。「整理・縮小」という表現は県も使用しており、何ら問題はないと考える。

問 リバーパーク構想に影を落とすような建築物、旧漢那橋の照明については。

答 村長

民間事業所には地元への理解を得るよう話している。旧漢那橋の照明は区と協議していきたい。



眞栄田絵麻 議員

本村において子どもたちの交通安全、防犯対策

問 本村の通学時交通安全危険箇所の確認、安全対策は。

答 新里教育長

毎年7月に各関係機関に協力依頼。村内の危険箇所や修繕箇所を確認するための合同点検を実施。点検後に村内計11か所の改善箇所が上がり、松田467番地、シャトレとうま前の交差点の一時停止線の設置国道329号から村多目的ドームに入る三差路の横断歩道の補修。惣慶区公民館周辺の進入路の一時停止線の補修。防災上の対策も引き続き行っていく。

問 生徒・児童に対する防犯指導の実施状況は。

答 村長

石川地区防犯協会により、各学校などへの防犯広報の冊子などの配付。子ども110番の家のマップを各小中学校区に分けて作成し、配付して周知を図っている。

答 教育長

年1回、所管内の警察署の協力の下、児童生徒の避難経路等安全確認、救急車の要請、保護者への

連絡などのマニュアルに沿って行われ、訓練に参加した警察官からの講話と助言をいただき、適切な判断と対応能力が持てるよう、指導が行われている。

問 学校内外の巡回・警備等の実施状況は。

答 村長

村内各公共施設21か所の巡回・警備等を業者へ委託。平日、午後7時から翌朝の6時の不定時4回。土日、祝日、閉庁時については、午前10時から翌朝6時までの不定時7回、巡回・警備を実施している。

答 教育長

各学校は独自に男性職員を中心に、教育委員会では青色回転灯をつけた公用車で登下校の安全指導とパトロールを行っている。

問 防犯カメラ等の施設整備の状況は。

答 村長

公共施設の防犯カメラの設置台数84台、各小学校、中学校、通学路上、各区事務所、道の駅、体育施

設、村内漁港、不法投棄監視用、タラソ、ＩＴオペレーションパークなどとなっている。

問 「子ども110番の家」協力者の状況は。

答 村長

村内で78者おり、各校区で分けると、松田小学校区で9者、宜野座小学校区で25者、漢那小学校区で14者、宜野座中学校区は全体の48者となっている。



掲載できなかった質問

・ 沖縄の日本復帰50年の節目について

答 當眞村長

3 保育所・保育園の散歩コースを集中的に合同点検を行い今年から実施。危険箇所が確認された場合、関係機関と協議し、安全マップに反映するなどの対応を講じていく。



小渡 久和 議員

普天間飛行場代替施設

問 基地はないほうがいいと誰も思う。宜野座村も大いに被害を受けている。世界一危険と言われる普天間飛行場の返還が決定されて26年たったが、いまだ活用され進展もない。

キャンプ・シユワブの工事について、工事業者の数。その中で働いている述べ人数は。

答 當真村長

防衛局に確認したところ、工事の受注者、元請け業者数は22者、作業員数は正確な数字は把握していないが、1日当たり1,000人以上の工事関係者が出入りしている。

問 平成17年、防衛局から宜野座村議会に4つの工法の件で説明が

あった。そのときに軍民共用の飛行場を進めていくとあったが、どうなっているのか。

答 村長

防衛局から「軍民共用を念頭に整備することや使用期限問題が盛り込まれ、当初は辺野古の沖合に代替施設を建設する案が検討されていたが、平成18年5月の日米2+2でV字案が承認され、同月、当時の防衛庁長官と沖縄県知事との間で在沖米軍再編に係る基本確認書を結んだ時点で、軍民共用や使用期限問題を取り上げた閣議決定を廃止したものと承知している。」との回答を得ている。

問 日本復帰50周年の節目を迎える。国内の米軍基地の施設の約

70・3%は沖縄県に占める。宜野座村も軍用地51%が提供施設である。村内に数多くあるヘリパッドの中で集落に近いファルコン・マラード・アウルスの3か所の使用停止を条件づけることはできないのか。

答 村長

普天間飛行場代替施設の辺野古移設工事について、現時点にお

ける私の立場としては、国や県の動向を注視していくしかないと考えている。

問 キャンプ・ハンセン内の工事

について地元企業(宜野座村・金武町)は入っているか。

答 村長

防衛局に確認したところ、防衛局が現在契約中の工事件数は39件、うち宜野座村及び金武町に本社が所在する受注者、(JVなど共同企業体も含み)工事件数は14件、宜野座村関係が6件、金武町が8件と回答があった。

農業用廃プラ処理

問 過去5年間で処理した数量と手数料は。

答 村長

5年間の合計が約12万6千キログラム、126.2トン。手数料は約828万4千円、うち村の助成額が約247万3千円。

問 村で廃プラ焼却炉の設置はできるか。

答 村長

村並びにJAが事務局を務める対策協議会において、これまで廃プラ焼却炉の設置を検討したことはないが、今後も処理費用が高騰することが見込まれ、農家、JA、村の費用負担も増加する懸念があることから、他の市町村の取組など調査を進めたい。

問 過去に補助事業で建設したハウスが老朽化している。今後の対応は。

答 村長

宜野座村農業用ハウス施設長寿命化対策補助金を設置し、施設を修復し、農産物の生産拡大に向けて取り組む方を対象に、施設の修復に係る資材の一部を補助している。また、村内農家が農業委員会を通して所有地以外の農地の利用権を設定し、使用している農業用ハウス施設についても、所有者の同意を得た上で補助対象として取り扱っている。当該補助金により、老朽化した施設の継続使用と施設の再活用につながっているものと思われる。今後も引き続き補助制度を継続していきたい。

令和4年 第5回 5月臨時会（5月20日）で決まったこと

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第28号	村道漢那ダム2号線（中山第二橋）補修工事の請負契約について	契約金額：1億1千万円 契約の相手方：有限会社 宮城工務店	原案可決 （全会一致）

令和4年 第6回 6月定例会（6月14～17日）で決まったこと

議案第29号	令和4年度宜野座村一般会計補正予算（第1号）について	歳入歳出それぞれ17億4千955万2千円を追加し、予算総額89億2千55万2千円とする。	原案可決 （全会一致）
議案第30号	令和4年度宜野座村国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について	歳入歳出それぞれ27万4千円を追加し、予算総額8億7千839万3千円とする。	〃
議案第31号	令和4年度宜野座村水道事業会計補正予算（第1号）について	収益的収入額71万3千円を増額し、2億7千445万1千円、収益的支出額71万3千円増額し、2億5千541万5千円、資本的収入額9千229万8千円を減額し、2億2千686万4千円、資本的支出額8千484万3千円減額し、3億1千448万8千円とする。	〃
議案第32号	宜野座村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	新型コロナウイルスの影響により収入が著しく減った世帯の国民健康保険税減免制度を今年度も引き続き実施するため。	〃
議案第33号	宜野座村固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について	地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令が一部改正されたことに伴い、本条例の一部を改正する。	〃
報告第6号	令和3年度宜野座村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	繰越額：6億1千904万1千円	〃
報告第7号	令和3年度宜野座村一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	繰越額：9千915万3千円	〃
報告第8号	令和3年度宜野座村下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	繰越額：7千575万5千円	〃
報告第9号	漢那漁港荷捌施設改築工事（建築）の請負改定契約の専決処分の報告について	工事内容変更等に伴う18万5千900円増	〃
意見書第2号	県立中部病院の医療体制の強化・充実を求める意見書（案）について	県立中部病院は、県民の命を守る役割は大きく、他の病院で診ることが困難な患者の治療を行うなど、地域医療の要としての役割を担っている。よって、宜野座村議会は沖縄県に対し、県立中部病院の医療体制の強化・充実を実現するため、強く要請する。	〃
決議第2号	令和4年度 地元産品奨励及び地元企業優先使用についての決議（案）	村民に対して、村内産品及び村内企業の優先使用、意識の高揚を図る。	〃
決議第3号	議員派遣について	町村議会正副議長・正副委員長研修会（那覇市）に派遣。	〃

令和4年 第7回 6月臨時会（6月22日）で決まったこと

抗議決議第2号	米軍車両の民地（畑）進入事故に対する抗議決議（案）について	宜野座村福山区公民館前畑地に米軍車両が進入する事故があった。本村議会は、村民の生命、財産、安全を守る立場から、強く抗議するとともに処置に万全を期すよう強く要求する。	原案可決 （賛10、棄1）
意見書第3号	米軍車両の民地（畑）進入事故に対する意見書（案）について		

★ 抗議決議等に対する議員の賛否

結果と議員名	採決の結果	仲間信之	津嘉山朝政	新里文彦	照屋忠利	眞栄田絵麻	平田嗣義	山内昌慶	當眞嗣則	伊芸朝健	小渡久和	当真嗣信	石川幹也
米軍車両の民地（畑）進入事故に対する抗議決議（案）意見書（案）について	可決	棄権	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成10 棄権1 —：議長は採決に加わらないので「—」で表示。

県立中部病院の医療体制の強化・充実を求める意見書

県立中部病院は、本島中部医療圏内の基幹病院であり、県民の命を守るセーフティーネットとしての役割は大きく、また多くの離島をかかえる沖縄の救急医療、他の病院で診ることが困難な重篤な患者の治療を行うなど民間病院と密に連携し、地域医療の要としての役割を担っている。

中でも泌尿器科は、地域がん診療連携拠点病院として腎臓がん、尿路上皮がん、前立腺がん、精巣腫瘍などの診療を行い、また尿路結石や前立腺肥大症などの良性疾患の診療、透析患者への生体腎・献腎移植も実施するとともに、救急センターと連携し救急疾患の対応も行っている。

また、地域の医療機関等と連携し、腎臓専門医が、かかりつけ医等に対し専門的アドバイスや研修を行うなど、腎疾患の重症化予防や新規人工透析患者数の減少に向け取り組んでいる。

このように、県立中部病院は地域医療の拠点として業務内容は多岐にわたり、業務量も膨大な中、本年4月からは泌尿器科医が減員し1人体制になるとされ、労働環境は悪化するものと予測される。

さらに、現在において泌尿器科の標準医療となるロボット支援手術も47都道府県の公立病院で唯一沖縄県だけが導入されておらず、これにより医師の負担軽減が図れないだけでなく、後進の育成も困難である。

このまま十分な人員確保や設備投資をせず、県民の命を救いたい一心で懸命に働く医療従事者の善意に頼り続けるのであれば現場は疲弊し、県民の命と安心・安全な暮らしが脅かされるのではないかと危惧するものである。

よって、宜野座村議会は沖縄県に対し、県立中部病院の医療体制の強化・充実を実現するため、下記の事項について強く要請する。

1. 泌尿器科・腎臓（移植）内科医の定数を増やし、人員を確保すること。
2. 医師の十分な休日を確保すること。
3. 施設の整備、ロボット支援手術を導入すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和4年6月17日

あて先：沖縄県知事

決議第2号

令和4年度 地元産品奨励及び地元企業優先使用についての決議

本村商工会は県内需要の創出による景気の維持・拡大を図り、経済の活性化を促進するため、昭和59年7月に沖縄県が策定した「県内企業への優先発注及び県産品の優先使用基本方針」に基づき、本年も業界、消費者及び行政等全県民が一体となってスローガンをかけ、各種事業及び広報キャンペーンを集中的に実施することで、県産品の使用奨励の啓発と需要の拡大を喚起することと併せて、本県産品の振興と雇用の拡大に資することを目的としている。

しかしながら、地域中小零細企業は技術力や資本蓄積の不足などで、大企業と比較して不利な状況にある上、今般の新型コロナウイルス感染症感染拡大の収束の見通しが立たない中での原材料高騰、ロシアによるウクライナ侵攻がエネルギー資源及び原材料不足からの価格高騰が懸念されており、事業活動自体が大変厳しい状況にある。

商工会では従前より地元産品奨励及び地元企業優先使用運動を推進するとともに、緊急事態宣言解除後の企業経営について伴走支援を積極的に展開し、地区内企業の育成強化と、雇用維持拡大を促進して事業再起と地域経済の活性化に努めている。

よって本村議会は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を最小限に抑えるために、「地元産品奨励及び地元企業優先使用」の立場から、村議会及び村・各区行政機関等で使用する物品については、地元産品を優先使用し、雇用の創出と地域経済の活性化の意味からも、公共工事には村内企業を優先すると同時に、村民に対しても村内産品優先使用の意識の高揚を図ることをここに決議する。

令和4年6月17日

抗議決議第2号、意見書第3号

米軍車両の民地（畑）進入事故に対する抗議決議

6月15日午後9時45分ごろ、宜野座村福山区公民館前畑地に米軍車両が進入する事故があった。夜間、雨天の中で起きた運転手の誤認と安全確認を怠った事故で、幸いにも人的被害は無かったものの本事故はこのまま収束する公算が大きい。進入車両は、ハンヴィー（HMMWV 高機動多用途装輪車両）とみられる。

しかし、本議会はこの事故に危機感を覚えずにはいられない。過去に城原区の村道1号線松崎・安田根又線で起こった米軍大型車両による児童死亡事故を想起するからである。村道1号線は、地域住民にとって主要な生活道路であり、我々宜野座村民は、そこで失われた幼い命に強い憤りと大きな衝撃を受けた。その後、米軍車両の村道1号線通行禁止を米軍と防衛局に求め続けているが、確たる回答は未だに得られていない。

今回事故が起こった村道13号線惣慶中央線は、5月20日に工事完了したばかりの新しい道路である。福山区民、村民の積年の希望が実現したもので、幅員拡大、歩道整備、路面舗装、線形変更と、住民の安全性と利便性を追求し、地域発展の夢を託した生活基幹道路である。

以上のことから、本村議会は、村民の生命、財産、安全を守る立場から、強く抗議するとともに下記事項の処置に万全を期すよう強く要求する。

1. 6月15日の米軍車両進入事故の詳細を調査し、本議会に報告すること。
1. 米兵への指導・教育を徹底し事故再発防止のための対策を早期に講ずること。
1. 米軍車両の「村道13号線惣慶中央線」通行は村民生活に支障を及ぼさぬようにすること。
1. 日米地位協定を抜本的に見直すこと。

以上、決議する。

令和4年6月22日

抗議決議あて先： 駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米軍沖縄地域調整官、第三海兵遠征軍司令官

意見書あて先： 内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄県知事、沖縄防衛局長



宜野座盛克氏、石川幹也議長（令和4年5月27日時点）

地元産品、地元企業を応援しよう!!

5月27日村商工会代表者が「地元産品奨励及び地元企業優先使用」について宜野座村議会を訪れました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症により村内各方面で多大な影響がでているため、村議会としてもより一層、村内企業の優先活用、村内産品の優先使用を図り、村民に対しても意識の高揚を図ります。

手交：宜野座村商工会長 宜野座盛克氏

米軍車両の民地（畑）進入事故に対する抗議決議、意見書



日時：令和4年6月30日（木）
 場所：沖縄防衛局
 所感：沖縄防衛局を訪れ、同局の中筋管理部長に原因調査や再発防止を求める意見書を手交した。今回はたまたま人的被害が無かったものの、いつ大きな事故が起きてもおかしくない状況だった。村民の安全面からしても決して許されるものではない。中筋部長は、村民の安心と安全の確保を最優先課題としている。米軍に隊員の教育を徹底するように申し入れると応じた。

担当：眞栄田絵麻



議会のペーパーレス化で紙や印刷コストの削減に努めます。

議会活性化調査特別委員会（タブレット研修）

日時：令和4年8月24日（水）
 所感：平成31年3月議会活性化特別委員会を立ち上げ、令和元年10月には先進地研修として北海道3町村議会に勉強しに行きました。ICT社会の一環として、議会の可視化やペーパーレスによるコスト削減に向け、2回目のタブレット講習を実施しました。各議員とも四苦八苦しながらも勉強しています。

村当局は4月からタブレットを活用した会議を実施している。議会議員も9月定例会より正式に運用していく予定です。担当：仲間 信之

議会を傍聴したいけど、議場までなかなか足を運べない方

宜野座村議会はインターネット YouTube で生配信しています。

宜野座村ホームページ → 村議会・議会中継 → 村議会中継はこちら をクリック

宜野座村議会事務局 ☎968-8326



議会広報調査特別委員会
 議長 石川 幹也
 委員長 津嘉山 朝政
 副委員長 仲間 信之
 委員 山内 昌慶
 委員 新里 文彦
 ※以上のメンバーで、議会をより編集しています。

編集後記
 今号（144号）が、私たちにとって最後の仕事になります。議会と村民をつなぐ広報誌としての確で興味深く、分かりやすい紙面づくりを目指してきました。コンクールで好評を得たこともありましたが、村民の皆様から手厳しい指摘をいただくこともありました。この4年間を振り返りますと、反省すべき点も多々ありますが、委員全員、職責を果たせたことに安堵しております。最後にご協力いただいた議員の皆様、粘り強く支えてくださった事務局の皆様、そして期待をもって見守っていただきました村民の皆様、に感謝申し上げます。編集後記といたします。
 津嘉山朝政